

個 別 の 人 権 課 題			子 ども		
校 種	高等学校	本時に関わる 3 つ の 側 面	知 識 的 側 面	◎	
対 象 学 年 等	第2学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	○	
教 科 等	子どもの発達と 保育		技 能 的 側 面		
単 元 名	子どもの福祉と子育て支援				

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

児童福祉の理念や関係法規、制度について理解するとともに、近年の子育て支援の施策と社会的背景との関係について考察し、表現することができる。

(2) 単元の計画

1次・・・児童福祉の理念と関係法規・制度（本時を含む）

2次・・・子育て支援

2 学習指導要領等の該当箇所

高等学校学習指導要領・第3章・第5節家庭・第2款・第5子どもの発達と保育

2 内 容

(5)子どもの福祉と子育て支援

ア 児童福祉の理念と関係法規・制度

イ 子育て支援

3 内容の取扱い

内容(5)のアについては、児童福祉に関する基本的な法規の目的と概要を扱うこと。イについては、子育て支援に関する社会的背景を取り上げ、子育て支援施策の概要を扱うこと。

また、「高等学校学習指導要領解説 家庭編 子どもの発達と保育」では、次のように示されています。ア 児童福祉の理念と関係法規・制度について、「児童福祉の基本法である児童福祉法の理念は、単に保護を必要とする児童のみならず、広く次代を担うすべての児童の健全育成が目的とされていることを理解させる。また、例えば、児童憲章、児童の権利に関する条約を取り上げ、児童福祉の基本的な考え方について理解させる。」

3 本時の目標

児童福祉の理念とその具現的施策について、児童福祉に関する条約や法律等を基に理解するとともに、近年の児童福祉の理念の捉え方の変化について考え、表現する。

4 人権教育との関わり

この単元では、児童福祉や子育て支援に関する学習を通して、個別の人権課題の一つである「子ども」に関連する内容を取り扱います。具体的には、児童憲章で示されている「児童は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、よい環境の中で育てられる」という児童福祉の理念を理解するとともに、近年、子どもへの保護的な福祉観から、子どもの最大限の発達や権利の保障という、より積極的な児童福祉の考え方に移り変わってきていることに気付くことを大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<p>・児童福祉を学ぶことは、子どもの幸せな生活の実現に必要なことは何かを考えることである。</p> <p>【課題】児童福祉の理念とはどのような考え方で、どのように具体化されているのだろう。</p> <p>■学習活動</p> <p>【1951年に日本で宣言された児童憲章には、児童福祉の理念がどのように示されているか読み取ろう。】</p> <p>・児童憲章は、すべての子どもの幸福をはかるために定められており、日本国憲法の精神に従って、憲章の冒頭で次の三つの理念が示されている。</p> <p>・「児童は、人として尊ばれる。」「児童は、社会の一員として重んぜられる。」「児童は、よい環境の中で育てられる。」</p> <p>■学習活動</p> <p>【このような児童福祉の理念を実現するためにどのような法律が整備されているのか確認しよう。】</p> <p>・児童福祉の理念の実現のために、児童福祉法をはじめとして六法が整備され、「児童福祉六法」と呼ばれている。</p> <p>・児童福祉法は、次世代の担い手である子どもの健全な育成及び福祉の積極的増進という基本精神を定めている。</p> <p>・その他には、児童扶養手当法、母子及び父子並びに寡婦福祉法、母子保健法、特別児童扶養手当等の支給に関する法律、児童手当法がある。</p> <p>・各法律において、それぞれが相互の内容を補完・補強しあいながら、児童福祉の理念が図られている。</p> <p>・現代社会の課題に対応するため、さらに児童虐待防止法や児童買春禁止法等の新しい法律を整備するなどして、児童福祉の充実が図られている。</p> <p>【まとめ】児童福祉の理念とは「児童は、人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、よい環境の中で育てられる」存在であるという考え方であり、児童福祉六法等の法律を整備して、この理念の実現を図っている。</p> <p>■学習活動</p> <p>【1989年に国連総会で採択された子どもの権利の条約には、子どもの福祉の考え方がどのように示されたのだろう。】</p> <p>・保護を受けるなど受動的権利だけでなく、意見を表明する権利や思想・表現の自由などの能動的権利を重視し、子どもを権利の主体として捉えようとする考え方が示された。</p> <p>【近年、児童福祉の考え方はどのように移り変わってきているのだろう。】</p> <p>・従来の児童福祉は「弱いから守る」という保護的な福祉観であり、「child welfare」と表現されていた。</p> <p>・近年は、「権利を行使する主体的な存在」として子どもを捉えるようになってきており、これは「child well-being」と表現されており、「well-being」とは、「助ける」ではなく「よりよい状態になることを目指す」という意味である。</p>	<p>【知識的側面】</p> <p>・憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識</p> <p>【指導上のポイント】</p> <p>・児童福祉法、児童憲章及び児童の権利条約において、すべての児童は一人の独立した人格をもった人間として認められ、健全に育成されることが保障されていることに気付かせる。</p> <p>【知識的側面】</p> <p>・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識</p> <p>【指導上のポイント】</p> <p>・子どもの存在の捉え方が、より積極的に権利の主体として捉える方向に移り変わってきていることに気付かせる。</p> <p>【価値的・態度的側面】</p> <p>・人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度</p> <p>【指導上のポイント】</p> <p>・新しい福祉観がもつ意義を踏まえて、自分との関わりの中でできることを考えさせる。</p>	<p>○資料「児童憲章（抜粋）」</p> <p>○資料「児童福祉六法（抜粋）」</p> <p>○資料「児童の権利に関する条約（抜粋）」</p>